

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校総合文化祭派遣費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 電話番号：058-272-1111(内3143)

全国高等学校総合文化祭総務企画係 E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

・7月下旬に行われる全国高等学校総合文化祭（令和5年度は鹿児島県開催）に本県代表として派遣する生徒の交通費・宿泊費の一部を負担。
・他県代表生徒の活動成果の鑑賞、参加生徒相互の啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興への貢献。
・新聞部会・弁論部会の新設による参加人数の増加、自県開催2年前からの全国高等学校総合文化祭参加人数の増加（先催県データによる）、大会開催前年の総合開会式での交流事業や本県大会PRへの参加等、令和6年度までの段階的な派遣費増加の見込み。

(2) 事業内容

岐阜県高等学校文化連盟に補助金（1,000千円）を交付。
（平成22年度より定額制に変更）

(3) 県負担・補助率の考え方

派遣された本県高校生が、全国各地から集う高校生たちの優れた活動に触発されることにより、自校の部活動、ひいては県全体の文化部活動の質の向上が図られることにつながる。

日ごろの活動の成果を全国に向けて発表することができる貴重な機会の一つでもあり、県の補助は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	1,000	岐阜県高等学校文化連盟に補助金として交付し、参加者へ分配。
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育ビジョンにおいて、「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲げられている。

(2) 国・他県の状況

【全国高等学校総合文化祭に係る事業】

富山県 4,316千円 交通費、宿泊費、運搬費
石川県 2,067千円 交通費、宿泊費、運搬費
福井県 7,621千円 交通費、宿泊費、運搬費
静岡県 5,050千円 区分なし
全国平均 2,923千円

(令和4年度全国高文連基本調査より (令和4年8月現在))

全国高等学校総合文化祭に係る事業(単独)を実施しているのは、28都道府県であり、その平均は2,923千円となっている。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	全国高等学校総合文化祭派遣費補助金
補助事業者(団体)	岐阜県高等学校文化連盟 (理由) 岐阜県高等学校文化連盟は県内高校の文化部活動を掌握し、組織的機能を持つ唯一の団体であるため。
補助事業の概要	(目的) 国内高校生芸術文化活動最大の祭典への県代表生徒の派遣 (内容) 派遣に際しての旅費及び宿泊費の一部を補助。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 全国高等学校総合文化祭派遣費補助金交付要綱に定める補助金額により、生徒旅費及び宿泊費を補助。 (理由) 県代表生徒の金銭的負担を軽減することで、文化芸術活動への意欲向上や各部門における技量向上を図るため。
補助効果	全国レベルの活動成果の鑑賞、参加生徒相互啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興。
終期の設定	終期R6年度 (理由) 全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催される、一つの大きな節目であるため。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 全国高等学校総合文化祭の本県開催までの連盟全体の技量向上とそれに伴って得られる参加人数枠の拡大。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①派遣補助対象生徒数		229	450	450	450	62%
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	1,000	1,000	1,000

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 コロナ禍により全国高等学校総合文化祭がオンライン開催となったため、大会に生徒を派遣することはできなかった。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会に229名の生徒を派遣し、1人あたり4,367円補助した。
	指標① 目標：450 実績：229 達成率：51%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	県代表校の派遣費の一部を補助することが各学校の文化部活動の動機づけの一つとなり、全体の活性化につながっているのは明白で、将来の県民文化の一層の発展のためにも本補助金は必要。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 3	派遣生徒が得た経験の部活動への還元、専門部会でのさらなる切磋琢磨する雰囲気醸成など、波及効果が大きいのは明らか。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	毎年各部・各生徒の日程や移動手段の綿密な計画を実施。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 全国高等学校総合文化祭に出場する生徒個人への負担軽減。 R5年度鹿児島県での開催による宿泊費または交通費の負担増加への対応の検討。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>生徒たちの文化部活動への意欲向上や技量向上等のため、本補助事業を継続する。</p>
--

